

# まちかど ネットワーク

## お便りください

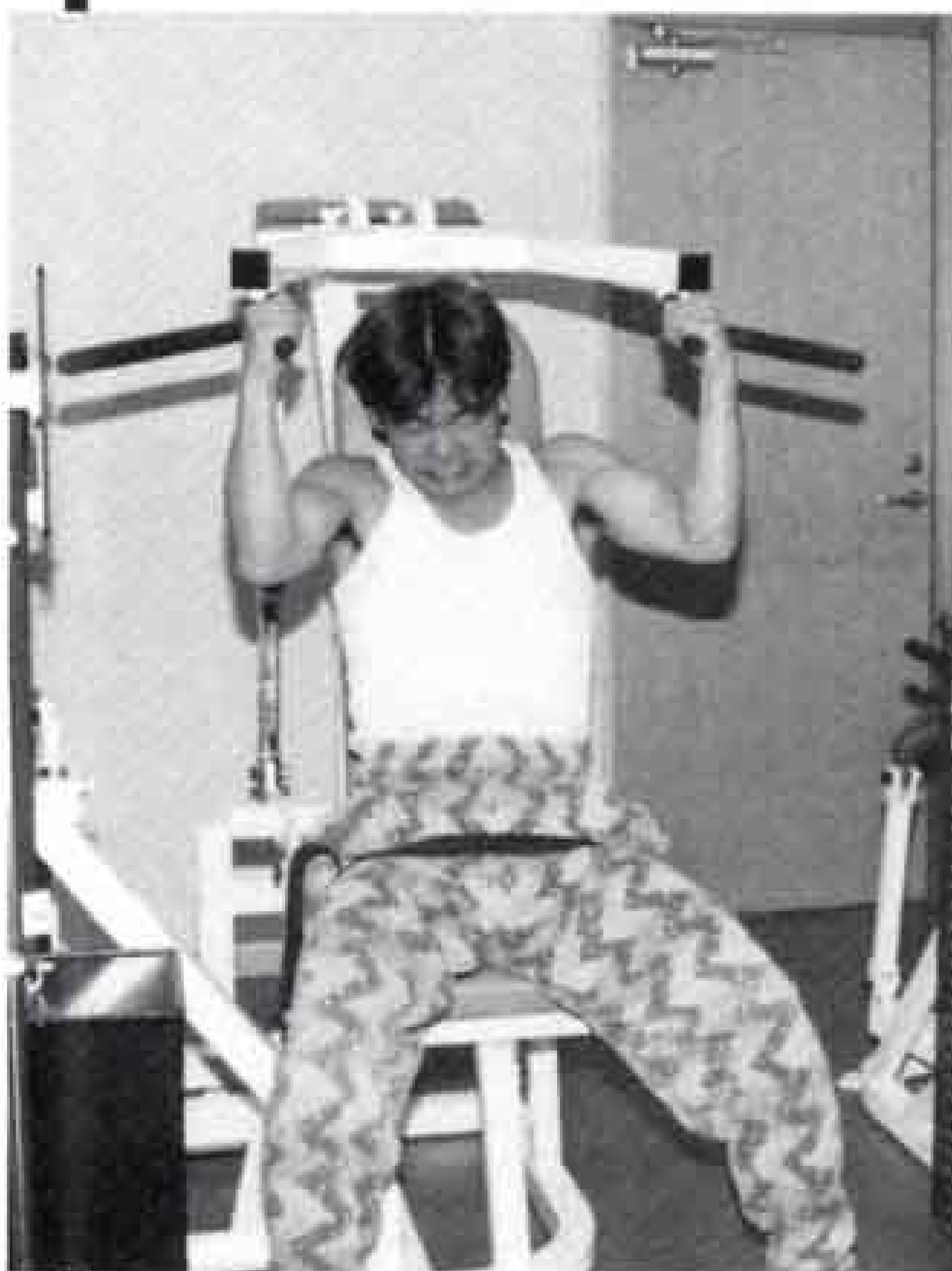
このコーナーは、皆さんの意見や地域的话题をお届けしています。  
広報広聴課 ☎51-0123内線2822へご連絡ください。



全国身体障害者スポーツ大会で  
金メダルと銅メダルを獲得

## 岩辺祐介さん

(大淵)



**市** 内の食材販売会社での仕事を終えてから、岩辺さんは週二、三回、市立富士体育館へ通い、トレーニングに汗を流します。岩辺さんは、十月に広島県で開催された「全国身体障害者スポーツ大会」に出場。見事、百メートル走で金、砲丸投げで銅メダルを獲得しました。大会前日、砲丸投げの練習で背筋を痛めてしまったため、車いすで会場入りしたほどでしたが、その逆境を持ち前の負けん気ではねのけ、すばらしい成績をおさめました。



学後、周りの人たちと同じように運動したい、と空手を始めてから、バランス感覚や筋力だけでなく、自分自身にも自信が付き、体を鍛えることが楽しくなりました。

**陸** 上競技を始めたのは一年前。当時通っていた県立中央養護学校（静岡市）高等部の教師の勧めで、身体障害者の県スポーツ大会に出場し、百メートル走で優勝したことがきっかけでした。ところが、ことしの三月の大会で転倒。それからというものの、不屈の精神力で地道にトレーニングを重ねてきました。

「アトランタのパラリンピック（障害者オリンピック）をテレビ観戦し、自分より障害が重い人たちの頑張りを見て、自分はまだまだ、と感じたのと同時に、自分も世界の大会に出場し、世界中の人たちと出会いたい、と思いました。これまで、いろいろな人たちと出会い、支えられてきたことは、自分にとって大きなプラスです」と力強く話してくれました。

## 「30秒ボランティア」

# ズームアップ

# ふじ



バスの乗りおりや道路の横断で困っているお年寄り、手足の不自由な人を見かけたとき、あなたは気軽に声をかけ、手を貸してあげていますか。

ほとんどの人が「そんなことは当たり前だ」と答えるかもしれませんが、しかし、頭ではわかっている、その場に居合わせた際、とっさに行動に移せると、あなたは自信を持って言えるでしょうか。

その瞬間に行動を起こすことができなくて、「ああ、何であのとき一声かけることができなかったんだらう、何であのとき気軽に手を貸してあげられなかったんだらう」と、後悔したことのある人って意外と多いのではないのでしょうか。考えるだけでなく、それを行動に移して初めて意義のあるボランティアにつながるのです。

「30秒ボランティア」

は、だれもが気軽に短時間でできるボランティアとして、富士市社会福祉協議会が中心となって啓発しています。「お年寄りや手足の不自由な人がバスをおりると

き、昇降口に立って肩と手を貸してあげましょう」、「横断歩道の前で困っている人がいたら、手を引いてあげましょう」などと呼びかけています。

例えば、健全な人ならばバスからおりることに何の苦勞もありませんが、お年寄りなどにとって、バスの最後の段をおりるときは、「手すり」がないので少し怖いのだそうです。あなたが「手すり」になつてあげるだけで、助かる人がいるのです。

そんなに難しく考えず、気軽な気持ちでまず一声。「小さな親切」が大きなボランティアにつながります。

